

第 5 回 会 議 録

付属機関又は会議体の名称		第5回池袋駅周辺地域再生委員会
事務局（担当課）		都市整備部 交通・基盤担当課長
開催日時		平成29年5月9日（火） 午後2時00分～午後4時00分
開催場所		豊島区庁舎 5階 507会議室
出席者	委員	岸井隆幸（委員長・日本大学）、中井検裕（東京工業大学）、羽藤英二（東京大学）、東京都 都市整備局 技監兼都市づくり政策部長事務取扱、東京都 都市整備局 都市基盤部長（代理）、東京都 建設局 道路管理部長（代理）、UR都市機構 東日本都市再生本部事業推進部担当部長、東日本旅客鉄道（株）投資計画部 担当部長、西武鉄道（株）取締役 上席執行役員 鉄道本部 計画管理部長、東武鉄道（株）生活サービス創造本部池袋まちづくり推進部長、東京地下鉄（株）鉄道本部 鉄道統括部長（代理）、（株）東武百貨店 経営企画部 部長、（株）西武プロパティーズ 専務取締役、（株）そごう・西武 執行役員 総務部シニアオフィサー、（株）池袋ショッピングパーク 総務部長（代理）、（株）パルコ 開発部 部長、（一社）東京バス協会 常務理事、（公財）東京タクシーセンター 指導部長、東京商工会議所豊島支部 会長、豊島区商店街連合会 会長、豊島区町会連合会 会長、豊島区観光協会 会長、としまF1会議 委員、池袋駅西口地区市街地再開発準備組合 理事長、池袋駅西口地区事業協力者 三菱地所（株）都市開発二部 部長、東池袋一丁目地区事業協力者 住友不動産（株）用地開発事業本部長、旧庁舎跡地活用代表事業者 東京建物（株）都市開発事業部長、豊島区 区長、副区長、危機管理監、文化商工部長、都市整備部長
	事務局	豊島区 地域まちづくり担当部長、土木担当部長、都市計画課長、再開発担当課長、交通・基盤担当課長
公開の可否		公開
非公開・一部公開の場合は、その理由		
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 区長挨拶 3 委員長挨拶 4 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 池袋駅周辺地域のまちづくり動向について 2) デザイン検討部会の設置について 5 議 事 <ol style="list-style-type: none"> 1) 池袋駅周辺地域基盤整備方針 中間まとめ について 2) 池袋ターミナル案内サインガイドライン について 3) 今後の検討スケジュールについて 6 そ の 他 7 閉 会

■区長挨拶

- ・池袋のまちづくりに向けて、岸井委員長を中心に関係者の方々にお集まりいただき、ありがとうございます。
- ・一昨年の7月に特定都市再生緊急整備地域の指定を受け、さらに国家戦略特区、東京都のヘッドクォーター特区の指定も受け、まさに3点セットが揃った。
- ・昨年7月に、まちづくりガイドラインを策定していただいた。そして、現在、検討いただいている基盤整備方針は、官民の活力を引き出す起爆剤になると確信している。
- ・池袋駅の地下は、非常に分かりにくいと言われており、案内サインガイドラインの策定を進め、2020年までに、統一したサインシステム整備が実施される。
- ・また、新庁舎の整備を契機に、旧庁舎跡地、公会堂、区民センター等を統一的に開発し、「国際アート・カルチャー都市」の拠点を形成する大プロジェクトが進行している。
- ・旧庁舎跡地開発のネーミングには多数の応募があり、審査委員長の隈先生の協力を得て、「Hareza 池袋」に決まった。また、造幣局跡地の開発や、西武鉄道の本社ビル、東西デッキ等を中心に池袋駅周辺の都市整備が順調に進められている。さらに環状5の1号線地下道路も開発が進んでいる。
- ・1999年の区長就任時には池袋周辺の計画は白紙であったが、2020年までに、かなりの部分で開発が進められ、2025年にはまったく変わった街ができあがると思っている。
- ・資料1に電気バスが記載されている。2020年の運用を目指し、先日、その試乗会を行い、好評だった。池袋の東西を結ぶきっかけになることも期待している。また南池袋公園も開園し大変評判が良く、東池袋一丁目の開発も進んでいる。
- ・国家的事業として「東アジア文化都市」が進められており、中国・韓国と交流できる文化都市に選定されるよう準備を進め、今月末に申請し、7月に決定される予定である。
- ・連鎖的にまちづくりを進めていくためには区だけでなく、国、東京都、鉄道事業者、百貨店、商業事業者等のご協力が不可欠となる。そのためには関係者に多くのメリットを生み出すまちづくりが重要と考えている。これからもよろしくお願ひしたい。

■委員長挨拶

- ・先ほど区長からも話しがあつたように、池袋は、眠っていたのが急に目を覚まして走り出しているような状況だと思う。本日も、会場に来る前に、新しくなった南池袋公園でコーヒーを飲んできたが、お子さん連れのお母さんも多く、賑わっていた。
- ・池袋も変わってきた。この勢いを止めることなく、実現するステップに進めていきたい。ここにいらっしゃる方がその担い手になると思うが、本日は、中間まとめということで、議論をよろしくお願ひしたい。

■議事

【岸井委員長】

- ・まずは、報告事項について、事務局から説明して欲しい。

【事務局】

(資料－ 1 説明)

(資料－ 2 説明)

【岸井委員長】

- ・以上の二つの説明につきまして、ご意見をいただきたい。
- ・意見などなければ、本日の議事に移りたい。資料3について説明して欲しい

【事務局】

(資料－ 3－ 1 説明)

(資料－ 3－ 2 説明)

【岸井委員長】

- ・P8は、今後の検討に関するものだが、これも中間まとめにはいるのか。

【事務局】

- ・P8まで含めて、中間まとめとして考えていただきたい。

【岸井委員長】

- ・P7での、早期の実現を目指す事業のスケジュールの中に、基盤整備方針が示されており、平成29年度に中間まとめと方針策定とある。この関係は、今回は中間まとめで、本年度中に最終的な合意として方針を策定するということでよいか。

【事務局】

- ・今回は中間のまとめで、更に基盤検討部会や再生委員会で検討していただき、秋頃にパブリックコメントを実施したうえで、年度末には基盤整備方針としてまとめたい。

【岸井委員長】

- ・それについては、後の資料5で説明があるという理解でいいのか。

【事務局】

- ・その通りである。

【岸井委員長】

- ・パブリックコメントにかけるのはこれにかけるのか。

【事務局】

- ・資料5のスケジュールを説明すると、基盤検討部会の欄に開催時期の目安の星印が入っているが、この中でブラッシュアップをした上で、案としてまとめてパブリックコメントを行う手順で進めていきたい。

【岸井委員長】

- ・今回の中間まとめは、これからさらに進んでいくことがありうるということか。

【事務局】

- ・資料5スケジュールの再生委員会の欄の秋頃に、開催目安の赤い星印が記されているが、この段階で案についてご承認いただいてパブコメに入る予定である。

【岸井委員長】

- ・今日は資料3-2を中心に議論いただくが、いったんここまで議論してきたものを整理したのが資料3-2である。今日ここで議論いただいたうえで、さらにいくつか議論すべき項目が残って、基盤検討部会で検討して変更があれば、それをもう一度再生委員会にかけて承認を得る形となる。
- ・資料3-2について、ご意見をうかがいたい。

【委員】

- ・P6では、明治通りの車線数の変更が早期実現を目指す赤字になっているが、P7では、長期的なスケジュールになっているが、整合は取られているのか。

【事務局】

- ・明治通りの車線変更については、P7の中長期のスケジュールで考えている。P6は、整備は中長期であるが、調査を含めて短期的に着手するという意味で赤字にしているが、紛らわしいので、事業を基準に考えてP6を修正したい。

【羽藤委員】

- ・基盤方針に関する議論は、いろいろな方が関わる中で、事務局も頑張ってまとめたものと思っている。
- ・大きな点は、明治通りの環状5の1の整備に伴い、中長期的には池袋の中心部の外側に交通を迂回させられる可能性が高くなり、その結果、池袋駅の周辺は、歩行者が過ごしやすい空間の創出が可能になるということである。
- ・そういうところに向けて、区が中心になって劇場や公園などが、矢継ぎ早に整備されようとしている。まさに時間消費型のまちに大きく転換していけそうな時だと思う。
- ・そうすると、駅に負荷が相当かかるので、駅周辺の連絡通路やたまり空間、待合空間

等を充実させていくことで、周辺の再開発と連動させていくのが、基盤方針全体の立て付けだと思う。ここまではよくまとまったと思う。

- ・ P 7で、早期実現を目指す事業を2020年までに重点的に整備していこうとしているのも、計画の大きな特徴だと思う。思い切って早期実現を目指すとは難しいにも関わらず、関係者と協議しながら、これだけのことは2020年までに整備完了していこうということで提示されている。東京都全体の中でもここまで出せるところはなかなかないので、ぜひ、ここにいる人々が一致団結して実行していけると良い。

【岸井委員長】

- ・ 個別の事業がそれぞれ動いている中で、本委員会は、池袋駅周辺として、時間軸を含めた全体のバランスを取りながら進めて行こうとしているが、個別の具体的な内容には更なる議論が必要になる。ただ全体としてはまとまりかけてきたと思う。
- ・ 中井先生のご意見をお願いしたい。

【中井副委員長】

- ・ まちを変えて行こうとする時、大きくは「図」の部分と「地」の部分との関係があり、一般的に基盤は「地」に関係すると思うが、本日の資料を見ると、「図」的な改良と「地」的な改良の両方が含まれていると感じた。
- ・ 今回は中間とりまとめということで、「図」の方に重点があるようだが、機能面については十分検討されているようなので、大丈夫だと思うが、池袋のイメージや顔づくりという視点からは、これからその上にできる構造物などのデザインも重要になる。
- ・ デザイン検討部会も立ち上げるということだが、例えば、西口に大きな交通広場があり、東口にも大きな歩行者広場がある。これらは池袋のイメージを一新するような整備となるので、デザインも頑張っていく必要があり、事業者の協力もお願いしたい。
- ・ 基盤の中でも「図」にあたる部分では、路線バスでない高速バスの停留所などをどこに設置するのかという疑問もある。また、西口の再開発で建物のラインが出ているが、街のあり方としていいのかという検討をもう少し進めて欲しい。
- ・ 「地」の部分では、P 6の黄色い点線で示されている歩行者ネットワークをどうしていくかということだが、P 3の図には赤丸で、たまり空間も示されている。ネットワークでは、街路の性格がそれぞれ違うので、それを踏まえて今後検討するとのことだったが、専門的にやっていただいた方がよいと思う。池袋のイメージを残しながら変えていくのは大事なので、今後の検討に期待したい。
- ・ 質問だが、歩行者動線の黄色の点線が、街区の中を横断しているが、どのような意図があって表記されているのか。また、たまり空間も、それぞれたまり広場になりそうな場所かどうか検討する必要がある。例えば芸術劇場の裏にも、たまり空間の赤丸あるが、バックヤードにあたるので、車の出入りもある場所になる。丸井の北側のたまり空間の2つの赤丸なども本当にたまり空間になりうるのか。

- ・どのような論理で丸が打たれているのか分からないので、整理をしていただきたい。このような道路が交錯するところなので、街の小さな舞台にふさわしいので丸を打っているというような論理が必要だと考える。

【岸井委員長】

- ・前半のご意見は、これから進める整備の空間のしつらえ方や、池袋らしさをどのようにして取り入れるかというご指摘だった。
- ・後半のご意見は、歩行者系のネットワークについては、もう少し丁寧にしっかりと整理してほしいというご指摘かと思うが、どうか。

【事務局】

- ・P6については背景が青い部分がコアエリア、ピンクの部分はにぎわい交流エリアとなっている。青い部分は、基本的に開発を進めていきたいエリアとして定めている。開発があった場合には積極的な歩行者のネットワーク形成を推進していくことになる。敷地内や建物内の通路も含めてこのような動線機能があると街に広がりや人の流れが生まれるということを示している。
- ・歩行者ネットワークについては、もう少し議論を深めていかなければならないと認識している。たまり空間についても、同様に議論を重ねていきたい。

【岸井委員長】

- ・ネットワークをつなぎ、たまり空間をつくりたいということだと思うが、分かりやすい方がいいかと思う。
- ・他に各委員から意見をお願いしたい。

【委員】

- ・池袋を変えていくということは分かるが、人が住んでいる、人が生活しながら歩けるという魅力的なものが少し欠けている気がする。それをどうしたらいいかというのは、非常に難しいところである。
- ・道路の沿道やいろいろな面で何か特色を出していきたい。そういうことにこれから行政の力を借りて、もう少し人間味のある住みやすい空間をつくってほしい。
- ・ただ大きな空間だけだと、コンクリートの塊に入るような感じで、現実的に今は人がものすごい。そんなに金をかけてという疑問もある。そう言いながらも、ゆとりのある、魅力ある商店街を我々も作っていかなければならない。これからはそういうアドバイスをお願いしたい。この点もゆっくり考えていただきたい。

【岸井委員長】

- ・中井先生のお話にも通ずるお話で、池袋らしさや魅力を失わないようにしながら、新

しい人々を取り込むようなしかけを作っていくことが大切である。

- ・デザインの部会を立ち上げるという説明もあったが、そういう場で街づくりのルールや公共施設の設計の考え方などの議論を進めていただきたい。

【委員】

- ・子育て世代を集めたいというのが豊島区や池袋にはあるので、ファミリー層が子供と自転車でどのような道を通って、どのような目的でここに来ているのかということをもう少しリアルに検討していただきたい。

【岸井委員長】

- ・今後の課題の一つである。池袋駅は、すぐ近くに住宅地が広がっているというのが、他のターミナル駅とは違うところである。住宅地との近さや今まで培ってきた良さを大事にしながらもっと良くしていく必要がある。

【羽藤委員】

- ・お二人が言われていることは、道路ではなく、街路にしてほしいということだと思う。街の空間として道を位置付け直して、子育て世代やお年寄りなどいろいろな方々が、道の上でも過ごせるようにしていくことが大事だと思う。
- ・世界中で道路の作り方は大きく変わってきている。道路が単に車が走る、人が歩くというだけでなく、人の居場所になるような、例えば、たまり空間をたくさん作ったり、沿道の商店街などと道路が一体に連携して、様々なプログラムを展開できるようにしたりするなど、道路を公園のように使うといった取り組みが盛んになってきている。
- ・基盤部会の中では、黄色い線で街区と街区をつなげていくというコンセプトを出している。この路線は単に人が動いているということではなく、人がとどまって佇んでいる、いろいろな会話ができる、つながってくる、そういう空間に街路空間が変わっていくというようなことも議論し始めている。そうしたことをデザイン部会などで地元の方と一緒に取り組んでいけるとよい。
- ・周辺の住民の方々もここを利用しているというのが、池袋や豊島区らしさでもあるので、ぜひ取り入れていきたい。

【委員】

- ・賑わいは重要であるし、260万人もの乗降客がおり、デパートを訪れる人も相当いる。また家族連れが街路の中で楽しむ状況はいいことだと思うが、それは、安心・安全があってのものだと思う。
- ・これだけ防災が言われている中で、災害に強いまちということを考える必要がある。ハード、ソフトともに大切だが、災害に強い街をいかにつくるかが課題だと思う。新

宿よりも池袋で飲んでいた方が安心だという街づくり、そうした配慮も必要である。安全であるということ、災害に強いということ、そういった街づくりについて、ぜひ検討していただきたい。

【岸井委員長】

- ・防災については、本日は欠席だが、基盤部会の市古先生が専門であり、検討していただいているので、先生にお伝えしておく。駅のみならず地域として安全な街になっていくという仕組みを作り上げていきたい。
- ・中間取りまとめ案は現段階での合意事項を整理したものである。もし、お気づきの点があれば、基盤検討部会でもう一度検討させていただいて、それを受けて秋のパブリックコメントに加味して、最終成果物にするというステップを考えている。
- ・多くの方が出席されており、この場では発言しづらい方もいらっしゃると思うので、もし何かお気づきの点があれば事務局に連絡いただきたい。
- ・では、資料4及び資料5について説明して欲しい。

【事務局】

(資料-4-1 説明)

(資料-4-2 説明)

(資料-5 説明)

【岸井委員長】

- ・それでは、資料についてご質問をいただきたい。

【中井副委員長】

- ・サインのガイドラインは、2020年目標ということなのでこの方向で進めていただくのはよいと思う。
- ・主要な出入口が6箇所設定されていて、そこへ向かって誘導するというコンセプトになっている。2020年までにサインを整備して、そこへ誘導していくということに異論はないが、誘導される主要な出入口が果たして主要な出入口らしくなっているかという問題はある。
- ・主要な出入口というからには、階段はもちろん、上下のエスカレーターや近くにエレベーターがあるなど、この規模の駅ならば、それぐらいの機能はあってよい。
- ・これから東口や西口を基盤整備の計画に従って整備していく時に、主要な出入口をどう作っていくかということを考えたうえで、現在決めているナンバーも場合によっては動かしていく、基盤整備と合わせて新たな主要な出入口を作っていくということも、サインとセットにして検討すべきだと思う。
- ・具体的には、現状の東口の南の出入口は、主要出入口とは言えない印象である。

- ・せっかくの基盤整備なので、主要な出入り口らしく変えていくということもあわせて考えて欲しい。場合によっては位置が変わるかもしれない。その時にはサインの誘導先も見直すことになる。

【事務局】

- ・そもそもサインが西と東で分かりにくいところから始まったが、今後は基盤整備方針や基盤のあり方とサインは、整合していかなければならないという認識を持っている。
- ・西と東を分けたうえで、ふさわしい形については検討していきたい。

【岸井委員長】

- ・分岐点と主要な出入り口というものが一体として議論されているが、分岐点は分岐点らしくなければいけない。
- ・例えば、東京駅では、分岐点の照度を上げるなどして分かりやすくしている。
- ・同様に案内サインがあるところについては、誰もががあると分かるような空間的なしつらえが必要である。それをできれば主要な出入り口と一体に設計する必要がある。
- ・空間的なしつらえ方も検討していきたい。
- ・公共サインが優先という大原則が書かれている。全てを公共サイン優先で考えるところからスタートしているので、そこはぜひご理解いただきたい。

【委員】

- ・天井面や壁面は広告だらけで分かりにくい。各路線への案内なども床面を利用して案内したらわかりやすいと思うので、検討して欲しい。

【岸井委員長】

- ・これから、具体的な検討に入るので、床面での案内についてもアイデアとして検討して欲しい。
- ・サインガイドラインは東京都の支援をいただいている。東京都では、渋谷・新宿・池袋・東京・日暮里・品川など、オリパラに向けて8駅で取り組んでおり、池袋駅もその一つである。他の駅ともバランスを取りながら、東京として案内できるようにしていきたい。
- ・今日は、サインの方針についてはご理解をいただき、基盤整備の中間まとめについても何点かのご指摘はあったが、基本的な方向については、ご理解いただけたと思う。
- ・最後に発言がなければ、事務局からの連絡をお願いしたい。

【事務局】

- ・参考資料として、前回の第4回議事録をお示ししている。発言内容についてご確認い

ただいた上で、氏名を削除してホームページへの掲載を予定している。内容にご指摘があれば事務局に連絡いただきたい。

- ・本年度は、基盤整備の検討とサインの整備を進めて行く予定であり、特にサイン整備については、事業者の皆様と現地での調整を進めたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。
- ・今後のご意見については、次回の中間まとめ以降の案として基盤検討部会で検討いただき、秋には案として皆様にまたご議論いただく予定である。

【岸井委員長】

- ・それでは、本日は、これで閉会とする。

(以上)

会 議 の 結 果	
提出された資料等	資料-1 池袋駅周辺のまちづくり動向(H29年5月) 資料-2 デザイン検討組織の設置について 資料-3-1 池袋駅周辺地域基盤整備方針の検討状況 資料-3-2 池袋駅周辺地域基盤整備方針 中間まとめ(案) 資料-4-1 池袋ターミナル案内サインガイドラインの検討状況 資料-4-2 池袋ターミナル案内サインガイドライン(案) 資料-4-3 池袋ターミナル案内サインガイドライン(案)【概要版】 資料-5 池袋駅周辺地域の都市再生に向けた検討スケジュール 参考資料 第4回再生委員会議事録・池袋駅周辺地域再生委員会名簿 ・サイン共通化検討に関するパブリックコメントについて
そ の 他	